

バングラデシュ、チッタゴン丘陵バンドルバン県では、Nathan Loncheu Bawm に率いられる Kuki-Chin National Front (KNF) という武装グループが、2021 年からチッタゴン丘陵で活動を活性化させ、2022 年 4 月 17 日に Rangamati 県でエスニック・マイノリティ市民を 2 人、2022 年 6 月 21 日に 4 人を殺害したのを皮切りに¹、反政府的活動をエスカレートさせ、状況は悪化の一途をたどっている。しかし、国際社会はまだこのことに十分な関心を払っていない。このレポートでは 2024 年 4 月までの状況を簡潔に報告し、国際機関の関心を再起させることが目的である。

KNF はなぜ生まれたのか？

この組織の前身は、Nathan が 2008 年に設立した Kuki-Chin National Development Organization という NGO である。その後この組織は Kuki-Chin National Volunteer と呼ばれるようになり、2016 年には現在の Kuki-Chin National Front¹と名称を変更して、現在に至っている。地元では Bawn 党として知られている。当初は平和的な活動を行い、ビルマのチン州やインドのマニプール州と交流事業を手掛けた。第 1 期生では、100 名以上のメンバーがマニプール州で研修を受け、その後、100 人の隊員をインドのマニプール州とビルマのカレン州とカチン州に派遣した。その後、ゲリラ訓練を受けるようになり、訓練をうけた人数は 3,000 人～4,000 人と言われ、Bawn、Khian、Pankua、Lushai、Mru、Khumu などの 6 つの非主流派²のエスニック・グループによって構成される組織となったと言われている³。



Nathan Loncheu Bawm

KNF の代表の Nathan は、ダッカ大学の美術研究所で大学院まで学び、学生時代は PCJSS⁴ が支援するヒル学生協議会に関与し、2000 年に M.N.Larma の彫刻を手掛け、執筆活動も行っていた。また、2018 年には議会選挙でバンドルバンから国会議員として立候補しようとしたが、指名されなかったため断念している。

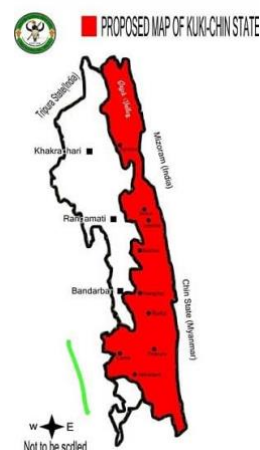
¹ Kuki-Chin National Army (KNA) という呼び方も見かけるが、ここでは KNF を使う。

² これらの民族は、インドのミゾラム州、ミャンマーのチン州などの起源を持ち、キリスト教を信仰している。

³ Parbattanews, 11 April 2022 <https://en.parbattanews.com/new-separatist-group-set-to-emerge-in-chittagong-hill-tracts/>

⁴ Parbatya Chattagram Jana Samhati Samiti、CHT の政党。CHT の長い紛争の後、和平協定を政府と締結した団体。

2021 年当時の KNF の主張は「和平協定は Chakma⁵らによる勝手な合意で、重要な役職も彼らによって独占されている」「チッタゴン丘陵はジュマランドでなく、Kuki, Chine⁶の領土である」とし、地図にあるように 9 つの郡と地区⁷を Kuki-Chine 州として独自の自治を与えることを主張している⁸。また、片方で KNF は大きな武装グループとなっても、バングラデシュ政府や軍への攻撃はしないと公言していた。6 つの民族で構成されているというが、バンドルバン県の Khian の地域のリーダーは、身近なもので参加した者はいないと証言しており⁹、実態は Bawn が中心のグループと思われる。



2022 年 10 月、バングラデシュ政府は、KNF がイスラム過激派 Jama'atul Ansar Fil Hindal Sharqiya に軍事訓練を提供しているという情報を得たとして、2022 年 10 月 10 日に Rapid Action Battalion が、その実態を調べるためチッタゴン丘陵バンドルバン県で搜索作業を展開し、7 人のイスラム過激主義者、3 人の KNF のメンバーを逮捕し、武器を押収する事態となり、世間を驚かせた。訓練の代償として KNF は、月 30 万タカのお金をその過激派から受け取っていたと言われている¹⁰。しかし、KNF は 10 月 19 日、イスラム武装グループとの関係はないとビデオメッセージで主張している¹¹。

軍が KNF 対策に乗り出す

その後、国際社会の懸念を意識してか、KNF の鎮圧対策は軍が中心に担うことになり、現地の政治的緊張感は一機に増した。2023 年 1 月 30 日には軍人 1 人が KNF に射殺され、3 月 11 日には建設作業員が身代金目的で拉致され、続いて 12 日はさらに 1 人の軍人が殺害

⁵ チャクマはチッタゴン丘陵の 11 の民族で最大で、抵抗勢力の中心的民族である。

⁶ Kuki, Chin は、ミャンマー・チン州、インド・ミゾラム州にルーツをもつ人々の総称。彼らのほとんどがバンドルバン県に住んでおり、人口も少なく、チッタゴン丘陵のエスニック・マイノリティの政治では中心的な役割を果たしてこなかった。

⁷ ランガマティ県の Barkal 郡、Juraichari 郡、Bilaichari 郡、Rawangchari 郡、Chimbuk Hills、Ruma 郡、Thanchi 郡、Lama 郡、Alikadam 郡

⁸ Hill Voice, 2022-5-30, <https://hillvoice.net/en/army-backed-another-armed-group-kuki-chin-national-front-in-bandarban/>

⁹ Rajib Nur, BDnews24, 2022-6-30, <https://bdnews24.com/bangladesh/in-chattogram-hill-tracts-a-new-group-of-armed-insurgents-is-making-waves.-who-are-they>

¹⁰ The Daily Star, 2022-10-22, <https://www.thedailystar.net/news/bangladesh/news/militants-given-arms-training-hills-rab-3148811>

¹¹ United News of India, 2022-10-19, <http://www.uniindia.com/operation-of-joint-forces-in-hills-of-bangladesh-knf-forced-to-retreat/world/news/2845463.html>

される爆破事件を起こしている。そのような混沌とした状況の中、2023 年 4 月 6 日、KNF と UPDF 民主派との間で銃撃戦があり、8 名の KNF メンバーが殺害されたとマスコミが報じた。しかし、CHT 国際委員会は、2023 年 4 月 12 日にプレスリリースを出し、政府に雇われたグループが 4 月 6 日早朝に誘拐された Bawn 市民 22 人のうちの 8 人に軍服を着せ殺害したもので、偽装行為であると発表した。

5 月 8 日には、Rawangchari 郡で 3 人の村人が射殺され 1 人が負傷する事件が発生。ある村人の証言では、軍に支援された UPDF 民主派のグループによる犯行と述べている¹²。5 月 17 日にはパトロール中の軍人 2 人が KNF により殺害され、2 名が負傷する事件が発生¹³。6 月 16 日には、Ruma で爆発装置により軍の兵士 1 人が死亡、1 人が負傷¹⁴と、絶え間ない KNF の襲撃事件が発生している。軍は KNF の鎮圧のため広範囲な搜索を展開する中で、住民への暴力やハラスメント、拷問、ポーターへの駆り出しなどが横行し、巻き込まれることを恐れた住民約一万人がインド・ミゾラム州に避難する事態となった。ミゾラム州は最初の約 500 人を受け入れたが、それ以後ミゾラム州は受け入れを拒否し、約 8 千人近い住民が現在もジャングルでの生活を余儀なくされている。

平和構築委員会のジレンマ

軍の呼びかけで、バンドルバン県協議会などのメンバー 12 人で構成される Peace Building Committee が 2023 年 5 月 29 日に創設された。7 月 19 日に KNF とのオンライン会議が開催され、次の会議がある 12 月 2 日までの停戦合意が約束された¹⁵。その後 6 つの要求¹⁶が KNF から提示され、1 回目の対面会議が 11 月 5 日開催されたが大きな進捗はなく、その後 KNF による恐喝や誘拐などがおりおり発生したため、大きく遅れて第 2



2024 年 4 月 4 日(木)、バンドルバンヒル地区評議会の
記者会見で話す平和設立委員会のメンバーたち (Dhaka
Tribune)

¹² Hill Voice, 2023-5-10, <https://hillvoice.net/en/3-more-bawm-villagers-shot-dead-in-rowangchari-many-left-their-homes-in-fear/>

¹³ Hill Voice, 2023-5-23, <https://hillvoice.net/en/another-knf-landmine-explosion-in-ruma-2-killed-3-injured-in-a-week/>

¹⁴ New Age, 2023-6-17, <https://www.newagebd.net/article/204462/bangladesh-army-soldier-killed-another-injured-in-bandarban-ied-explosion>

¹⁵ Protom Alo, 2023-7-20, <https://en.prothomalo.com/bangladesh/local-news/aqficaselk>

¹⁶ 6 つの要求については、ある情報筋によると「自治州は 9 つの郡から 7 つの郡に減らし運営機関として Kuki Territorial Council を設立する」「Council の議長を大臣レベルの地位とする」「観光事業の承認権を Council に与える」「土地の売買やリースに関してこの委員会の権限とする」「警察の採用・任命権の権限を Council に与える」「KNF を公式な自警団として認める」となっている。

回目の会議が3月5日に開催された。この会議では、KNFは和平プロセスの間、武器をとらず法執行機関に協力し、政府はKNFが故郷に戻れるように全力を尽くすこと、教育、健康、食料、雇用創出における生活改善のためのKNFの考える政策提案を当局に送ることが議論された。次回の会議で最終的な合意に至る議論をすることが決定され、前向きな議論が進んだ¹⁷。

こうした和平プロセスが進む片方で、バンドルバン地域ではKNFの暴力や恐喝、誘拐などがたびたび発生していた。特に、Marma¹⁸・コミュニティとKNFとの対立構造が徐々に激化し、2024年2月13日には、Ruma郡でMarmaの村人がKNFに銃撃され入院する事件が発生し、14日はRuma市民協会の名のもとに数百人の人間の鎖による抗議運動が行われた。村人への暴行、恐喝、誘拐なども頻繁に日常的に発生し、村人の多くは巻き込まれることを恐れて、ジャングルでの生活を余儀なくされている。

KNFによる銀行強盗事件

こうした交渉が続くさなか、4月2日の夜、武装化した20名近いKNFが、タンチー市のKrishi Bank, Sonali Bankに押し入り、現金およそ100万トルコクロネ、60万タカ、14丁の銃と415発の弾薬、店員や客から携帯電話を奪う事件が発生した。またShonali銀行マネージャーを誘拐し、4月4日に身代金と引き換えにマネージャーを解放した¹⁹。

この事件を受けて、4月4日バングラデシュ平和構築委員会は、KNFとの和平交渉の中断を発表した。4月5日には、バングラデシュの治安部隊と、陸軍、警察、バングラデシュBGB、RABなどの法執行機関は、バンドルバンで合同作戦を開始した²⁰。4月7日に、合同作戦部隊は、KNFの幹部であるCheosim Bawnを逮捕、さらに4月8日は女性18



防犯カメラに映る犯行中のKNF (Protom Alo)



Cheosim Bawn (55)が逮捕される (Protom Alo)

¹⁷ S Bashu Das, Dhaka Tribune, 2024-3-05, <https://www.dhakatribune.com/bangladesh/nation/341080/knf-peace-committee-holds-2nd-meeting-in>

¹⁸ CHTで2番目に人口が多いミャンマーのラカイン州を起源とする民族で、1997年の和平協定の推進勢力の一つである。

¹⁹ S Basu Das Bandarban, Dhaka Tribune, 2024-4-3, <https://www.dhakatribune.com/bangladesh/nation/343327/knf-men-attack-sonali-bank-krishi-bank-in->, 2024-4-4, <https://www.dhakatribune.com/bangladesh/crime/343457/knf-members-attack-thanchi-police-station>

²⁰ Saye Hasan Al Manzur, TVISTA, 2024-4-5, <https://tvista.org/bangladesh/91/inside-knfs-armed-rebellion-in-bangladeshs-hilly-region>

人を含む、54 人の KNF メンバーを逮捕した。その後逮捕者が徐々に上乗せされ、4 月 22 日までに 111 人が合同部隊によって逮捕された。そのうち、4 人は子供で、5 人は KNF 関係者、残りが一般人と言われている。これらの逮捕者のうち 23 人が拘束後に釈放されているが、残りの人々はまだ拘束されている。逮捕された人びとが無実であるという主張が関連団体から出されている²¹。KNF の Facebook でも、無実の住民が逮捕されていると写真入りの投稿がされている。また、銀行強盗事件の現場と軍と警察のキャンプに近いにもかかわらず、事件直後、軍は何も手を出さず、数日後作戦を開始しており、意図的な対応があったのではないかという情報も出ている²²。

こうした軍の対応の中、4 月 19 日に KNF の銃撃があり、軍人 1 人が死亡、2 人が重傷を負う事件²³、4 月 29 日にも軍と KNF の銃撃戦で KNF メンバーが 2 名死亡しており、まったく状況の改善の様子は見られない。

理解が難しい KNF の政治主張と行動

CHT の関係者は、人口数の少ない Bawm 民族が、突然武装グループを立ち上げたことに不自然さを感じる者が多く、要求内容も唐突で違和感を訴えている。彼らが反和平協定、反 Chakma を強く打ち出していることから、Directorate General of Forces Intelligence (DGFI) が仕組んだもので、エスニック・マイノリティの内紛をさらに複雑にするための工作ではないかという声も多い。もしそうであれば、彼らは軍人を攻撃するのか。一部の専門家たちの推測では、軍の側が KNF を使ってエスニック・マイノリティの内紛工作を仕掛けたが、KNF が資金目当てにイスラム過激派と接触するという予想しない独自の行動に出たため、中央政府のテロ対策部隊が動きだし、国内の政治問題に発展した。国際社会の目を気にした軍は、一転して KNF への対抗姿勢を演じているのではないか、という見方も噂されている。

また、いかにも和平交渉に臨むような KNF の姿勢と、片方で銀行強盗、恐喝、誘拐、軍人の殺害などを続ける KNF の姿に、一貫した政治的姿勢が見られず、こうした姿勢に対して、現時点では Bawm コミュニティからも見放された状況である。

またエスニック・マイノリティの既存政党である PCJSS、UPDF はこれらの動向にほとんどコメントをしておらず、静観している状況だ。

最大の被害者は地域住民

この 2 年間の事態の中で、最大の被害者は言うまでもなく地域住民である。KNF からの

²¹ Hill Voice, 2024-4-29, <https://hillvoice.net/en/2-knf-members-killed-in-shootout-with-army/>

²² Hill Voice, 2024-4-10, <https://hillvoice.net/en/54-men-women-of-bawm-villagers-arrested-in-ruma-most-of-them-innocent/>

²³ Hill Voice, 2024-4-19, <https://hillvoice.net/en/1-army-person-killed-2-injured-by-knf-shots-in-ruma/>

暴力や恐喝、誘拐だけでなく、軍の搜索活動上で不当なハラスメントやポーター徴用のリスクにさらされ、UPDF 民主派などの不可解な暴力介入にもさらされている。また、KNF と疑いをかけられ逮捕、拷問にあう可能性の中でおびえて暮らしている。住民の多くは事件のかかわりを避けて、周辺のジャングルでの生活を続けており、



4月8日に逮捕、連行される地域の人々(Hill Voice)

その数は8000人近いと言われている。国際社会はこの件にもっと関心を持ち、不当に逮捕された住民への人権擁護のための声を出していく必要がある。

¹ 殺害された者は他の武装グループではなく、一般市民と言われている。